

情報提供日	令和6年(2024年)3月30日(土)
問い合わせ先	広島市植物公園 管理課 中原、富澤 栽培・展示課 山本、山森 TEL 082-922-3600

江戸の園芸文化を今に伝える サクラソウ展を開催

広島市植物公園では「サクラソウ展」(45回目)を開催します。江戸時代から伝えられている貴重な園芸品種をはじめ、全国から集められた野生種とあわせて展示します。また、里山の野草園では、自生に近い状態で育つサクラソウをご覧ください。

江戸時代から人々を楽しませてきた、さまざまな花色や花形の変化に注目しながら、サクラソウをご覧ください。

期間：令和6年4月13日(土)～4月17日(水)

協力：広島市植物公園植物友の会植物同好会

場所：屋外展示場

出品数：約150点

臨時売店：あり



江戸の園芸事情を解説するパネルとともに展示



「濡燕」



「風車」



「喝采」



「無礼講」

サクラソウとは？

サクラソウ(学名: *Primula sieboldii*)は、中国大陸東北部から朝鮮半島、日本にかけての冷涼な湿原に生える多年草で、ヨーロッパ原産のセイヨウサクラソウや中国原産のマラコイデス、オポコニカと区別するため、ニホンサクラソウ(日本桜草)とも言われます。日本の古典園芸植物を代表する存在の一つで、江戸時代に栽培が盛んとなり、自生のもものでは、埼玉県さいたま市桜区田島ヶ原のサクラソウの大群落が、国の特別天然記念物に指定されて大切に保護されているほか、広島県内にも自生地が残されています。

開園時間 午前9時から午後4時半まで(ただし、入園は午後4時まで)
入園料 大人510円、65歳以上・高校生170円、中学生以下無料
休園日 毎週金曜日



里山の野草園のサクラソウ